



国府台女子学院 小学部だより

言語の力を育てる

2025年10月号 10月4日発行

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

私たちが生活していく上で、言葉によるコミュニケーションは欠かせませんが、子どもたちの日々の様子を見てみると、(子どもに限らず大人になってもですが)気持ちを言葉にして伝えることの難しさを感じます。

コミュニケーションは双方向に行われるものですから、発信する側だけが上手に発信すれば伝わるというのではなく、受け取る側の理解の仕方も大切です。発信の仕方や受け取り方は人それぞれ自由ですが、気持ちを上手に伝えることができるようにするために家庭でできるコツを挙げてみました。

1 家庭での会話を大切にしましょう

短い時間でもお子様の話を聴きましょう。コツは、「よかったね」「悲しかったね」等、気持ちを表す言葉を使って共感してあげましょう。また、保護者が美しい言葉や豊かな表現を使うことで子どもの語彙が広がっていきます。くれぐれも、先走って対応したり、感情を誘導したり、いきなり叱ったりしないように気をつけましょう。

2 読書の機会を増やしましょう

時には親子で同じ本を読んで感想を話し合しましょう。()

10 月 行 事 予 定

1日 3年生 校外学習	18日 休業日
4日 縦割り集会	20日 仏教朝礼
5日 市川まつり	21日 職員会議
6日 仏教朝礼	24日 市川市陸上大会(5,6年生選手)
7日 クラブ	入試準備
8日 3年生 梨の学習	25・26日 入学試験・判定会議
9日 1,2年生 自然教室	27日 振替休業(10/26分)
11日 縦割り集会	28日 クラブ
13日 祝 スポーツの日	31日 芸術鑑賞会(午後)
14日 職員会議	
16日 校外学習(TDL)	11月1日 休業日
17日 休業日	3日 祝 文化の日

同じものを読んで話し合うことで、お子様がどんなことに感動するのか、どんな感じ方をするのかがわかりやすく、話しやすいと思います。

3 相手の立場を考える習慣をつけましょう

「お友達はどんなふうに感じているかな」と聞いたりして、相手の気持ちを想像するようにしながら、自分も相手も両方とも大切にできるようにしていきましょう。

日々のちょっとした積み重ねが大きな力になります。ゆったりと寛容に対応していきましょう。

役割が人を育てる

今年の学院祭も盛況でした。子どもたちも大いに楽しんでいる様子が見られました。

みんなが楽しめる学院祭に向けて、準備、当日の運営、片付けに際して、5,6年生が大活躍でした。

アリーナ3にシートを敷いたり、机やイスを並べたり、作品を運びこんだりして展示の準備をしました。また、その他の教室を整える、委員会やクラブの準備をするなど、積極的に働いていました。

役割があることで目的意識をもち、積極的に働くことで、感謝され、さらに人のために頑張ろうとする。頼もしい5,6年生の姿が見られた学院祭でした。

育友会の皆様、母の会の皆様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



今月の目標

「時間を守って、機敏に行動しましょう。」

「自然(じねん)と謙虚の教え」

私たち人類は、特定の信仰を持つか否か、あるいは自らを無神論者と称するかにかかわらず、生涯で一度も祈りを捧げたことのない者はいないのではないのでしょうか。古来より、仏教の如来や菩薩、聖書やコーランに記された唯一の神、神道の神々やギリシャ神話、ヒンドゥー教の神々など、絶対的な存在が人々に語り継がれ、信仰や畏怖の対象となってきました。神仏や特定の宗教を信じていなくとも、霊魂や心霊的な存在を信じる人々、さらには神仏や霊的なものを一切否定する人々でさえも、人生の岐路に立たされた時、命の危機に直面した時、あるいは愛する者の命が失われそうになった時、私たちは祈りを捧げずにはいられないでしょう。その祈りは必ずしも神や仏に向けられる必要はなく、ただ、その願いを叶えてくれる「何か」へと捧げられるのではないのでしょうか。この祈りの根源には、広大な宇宙や自然の摂理を前にした時、人間がいかに無力で、その流れに抗うことのできない小さな存在であるかという、自然(宇宙)に対する畏怖の心のあらわれかもしれません。だからこそ、先人たちは「自然」の道理と人間の営みについて思惟を重ね、宗教や哲学が形づくられてきたのだと思います。

例えば、親鸞聖人の師である法然上人は「自然法爾(じねんほうに)」と説きました。これは、人間の作為や努力を超えた阿弥陀仏の慈悲の働きによって救われるという考え方です。また、中国の道家思想の祖である老子も、人為的なものを排し、宇宙の法則、自然の摂理に身を委ねる「道(タオ)」の生き方を説きました。これらの思想は、現代におけるSDGsや自然保護の理念と深く響き合うと思います。私たちはこれまで、科学技術の発展によって自然を支配し、その恵みを無尽蔵に享受できるように錯覚してきましたが、今一度、自然や宇宙の摂理に対し謙虚に向き合うことが求められているのではないのでしょうか。

マツケンサンバふたたび!

10月5日(土)市川まつりに5,6年生有志による鼓笛隊(11:00~12:00)とアフタースクールキッズダンサー(12:30)が出演します。お時間がある方はお出かけください。

ちょっとうれしい話

ある日の下校時の話です。1年生が車で転んで膝にけがをして困っていたときのことです。通りかかった3年生3人が手当てをしたり励ましたりしながら、見守ってくれて心強かったと感謝のお電話をいただきました。優しい気持ちが広がっています。